

令和2年度第1回北杜市魅力発信検討委員会議事録

- 1 開催日時 令和2年9月3日(木)午前10時30分~12時
- 2 開催場所 北杜市役所西館2階会議室
- 3 出席委員 小澤建二、内田英一、三井一男、進藤玲子、三井麻里子、
小林昭治、原真樹子、小川節子、林義夫、浅川幸彦
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 秘書広報課 小澤永和、広聴広報担当 坂口美穂、齊藤ゆか、
幡野祐也

6 会議録署名 浅川幸彦、小澤建二

7 公開・非公開の別 公開

8 傍聴人 なし

9 内容

(1)開会

(2)会長あいさつ

(3)議事

議事1 情報発信に係る取り組みについて「広報ほくと」

【委員】 広報ほくとの表紙に、市章を入れたほうが良いと思う。

【委員】 1案が良い。JAの広報は家族写真が表紙になっている。JAの広報と間違わないようにしてほしい。

【委員】 表紙と特集は連動した内容にするのか。

【事務局】 表紙と特集が連動したほうが読む上ではわかりやすいと考えているが、違ったご意見もあれば伺いたい。

【委員】 表紙と特集が連動するなら、わかりやすい写真が良いかと思うが、必ずしもそうでないのであれば、景色などの市の魅力がわかりやすい写真も取り入れても良いと思う。

【委員】 2案は他の情報誌と間違ってしまう。広報は情報誌ではない。1案のほうが広報としては良いと思う。景色の写真をいれてほしい。

【委員】 1案のひらがながやさしい感じがする。季節のものを写真に取り入れてほしい。

【委員】 2案は広報ほくとらしい感じがしない。広報の中に何が書いてあるかわかると良い。表紙や巻頭に記事の一覧が掲載されていると良い。広報は情報誌。

【委員】 行政の施策等との兼ね合いもあるので、一概に掲載する内容を決められない。そういったことも踏まえながらわかりやすくしていく必要がある。

- 【委員】 北杜らしい魅力を発信できる表紙にしてほしい。
- 【委員】 1案と2案を合体した形はどうか。
- 【委員】 目線ありの正面の写真を表紙にすることは必要がないのではないかと。紙面は見やすくなっている。
- 【委員】 北海道の北斗市と間違ってしまうので、北杜市らしいものにしてほしい。
- 【委員】 表紙決定の期限はいつか。
- 【事務局】 11月中には決定したい。
- 【委員】 紙面の構成もしっかり考えてほしい。
- 【委員】 デザイナーとよく話し合い、これらの意見を取り入れながら進めていってほしい。経過についても報告してほしい。

議事2 情報発信に係る取り組みについて「北杜市ホームページ」

- 【委員】 広告バナーは、いくつの枠があるか。どのような広告宣伝しているか。どのくらいの期間掲載できるのか。新規の広告主はあるか。
- 【事務局】 広告バナーは、16枠ある。ホームページや広報で、広告主を募っている。1か月から、最大6か月まで掲載できる。更新時期には、継続のご案内をしているが、空きが出た場合には営業活動も行っている。
- 【委員】 ホームページのトップページの写真が綺麗でよい。内容も工夫されていると思う。週刊ほくとニュースをホームページで見られるようにしてほしい。
- 【事務局】 以前、委員の方から、ケーブルテレビに加入していない人も、週刊ほくとニュースを見られるようにしてほしいとご意見をいただき、ホームページに掲載している。ご活用いただきたい。
- 【委員】 ホームページのトップページの写真は、季節のものが初めに来るようにしてはいかがか。
- 【事務局】 写真は、昨年の水の山フォトコンテストに入賞したものを採用しているが、順番は変えられるので、季節に合った写真がトップに来るように工夫する。
- 【委員】 ほくと魅力発信部の部員への研修はどうなっているか。
- 【事務局】 部員を対象に、4回研修を行う。北杜の魅力の共有、文章の書き方、写真の撮り方、ソーシャルメディアポリシーについて学んだ後、11月から来年の10月まで1年間、ツイッターで北杜の魅力を発信していただく。
- 【委員】 ホームページのアクセス数を増やす起爆剤として、考えていることはあるか。
- 【事務局】 今年度は、コロナ対応で特に秘策というものは考えていない。コロナに関する情報を集約して、市民の方に必要な情報を提供することが重要だと考えている。

【議長】 魅力発信部員については、応募してきた 7 名を部員として決定してよろしいか。

【委員】 よし。

議事3 情報発信に係る取り組みについて「週刊ほくとニュース」

【委員】 市長がメッセージを発信をするコーナーがあるが、原稿を読むのではなく、自分の言葉で話をして欲しい。

【委員】 自粛生活が続く中、体操などの放送はよかったと思う。ただ、新入職員を紹介するコーナーで、マスク姿だったのが残念だった。テレビに映るときには、マスクを外してもよいのではないか。

【事務局】 撮影環境にもよるが、今後はなるべく 3 密を避け、顔や表情がわかるようマスクを外して撮影したい。

【委員】 週刊ほくとニュースでいろいろな取り組みをしているのはよい。QR コードなどを活用し、ケーブルテレビだけでなく、広報やホームページなど、いろいろな媒体を連動させて情報発信することが大切だと思う。

【委員】 先日、様々な団体が集まって、コロナ対策を取りながらの生活に、どんな課題があるか話し合う会議があった。そこで、老人会の集まりをいつ再開してよいかわからない、家の中に困りがちになっている老人に鬱が増え、認知症が進んでしまった人もいると聞いた。運動不足解消のため、ほくとニュースで放送していたミズクマくん体操などはとても良かったと思う。これら、コロナに関連した課題に取り組むコーナーも重要だと思う。

【委員】 地区の子供クラブの活動があったので、週刊ほくとニュースを見ているか聞いてみたところ、10 世帯のうち 2 世帯しかケーブルテレビに入っていなかった。週刊ほくとニュースが、ホームページで見られることを、積極的に周知して欲しい。

【事務局】 広報などで、周知していきたい。

【委員】 週刊ほくとニュースには、時間的な制約もあるため、詳細はホームページですべての情報を集約していくべきだと思う。例えば、お年寄りが、何かボタンを押せば必要な情報がまとめて手に入るようなものを作ってはいかがか。

【事務局】 高齢者の方向けに、ホームページ内に「元気 100 歳ネット」というページを作っている。介護予防や高齢者向けの体操動画などを載せている。この QR コードを広報や週刊ほくとニュースで表示し、スマホで読み取れば、情報がみられるようにするということはできるので、今後対応したい。
以上